

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区地域コミュニティ活性化促進事業		中区役所 企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R4		
堺市中区に所在する地域活動団体(自治会等地縁団体・NPO団体・ボランティア団体等)における地域SNS「ピアッツァ」での活動に関する情報発信を促進させることで、地域活動団体の人員・担い手不足等の解決につなげ、地域コミュニティの活性化を図る。	大阪公立大学と委託契約を締結し、同大学ボランティア・市民活動センターにより以下のピアッツァ利用促進に係る取組・地域活動団体のマッチングを行う。 ①中区に所在する地域活動団体へのピアッツァの活用方法の説明による利用意向の向上及び利用意向のある団体への登録支援 ②マッチングにつながる投稿促進のためのイベントを年3回程度実施	地域SNS「ピアッツァ」中区エリア登録者数:1000人	974人		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎	かねてからの地域における課題である地域活動団体の人員・担い手不足の解消に資する事業であり妥当性は高い。	○	地域SNS「ピアッツァ」については堺市各区でエリアを有するものの”地域活動団体のマッチング促進”という位置づけでの活用を行っているのは中区のみであり、また区に所在する大阪公立大学と連携して事業を行っているため、区の特徴を生かした事業であると言える。	◎	地域SNS「ピアッツァ」の運営に関しては、広告費によりPIAZZA株式会社側で賄われており、周知用チラシの作成等も含め、市側に一切の費用負担が発生していないため、効率性が高い事業形態であると言える。
⑤自立発展性	総合評価				
△	区広報紙等での周知やV-stationによるイベントでの周知を複数回行っているものの、一般市民及び地域活動団体の双方においてはまだピアッツァに関する知名度は高くない状態であり、SNSとして行政による投稿促進や周知活動が不要な状態ではない。	△	当初予定していた地域活動団体への利用意向の向上に関するアプローチ・マッチングにつながる投稿促進のためのイベントは実施したものの、各団体からはピアッツァはまだ知名度が乏しく、現状のままでは登録して発信したとしてもあまり効果的な広報にならないのでは、との意見もあり、団体の利用意向は高くない。登録者数の増加や情報発信の活発化を図り、ピアッツァ中区・南区エリア自体を活性化させないと、地域活動団体のマッチングにはつながりにくい状態である。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	令和4年度は地域活動団体のマッチングの前提条件として、まずはエリア自体の活性化が必要であるという考えのもと、エリア登録者数の増加につながる取組と地域活動団体への登録促進を並行して行った。 結果としては、南区のピアッツァ開設によるリニューアルオープンがあったこともあり、目標値にわずかに届かなかったものの一定のエリア登録者数は確保できた。 しかしながら、今後の登録者数の伸び悩みが想定され、また本事業の本来の目的である地域活動団体のマッチングについては、いまだ十分とは言えない状態であるため、今後もどのような手法で登録者数増加および地域活動団体のマッチングを促進していくべきかV-stationと協議したうえで進めていく必要がある。				